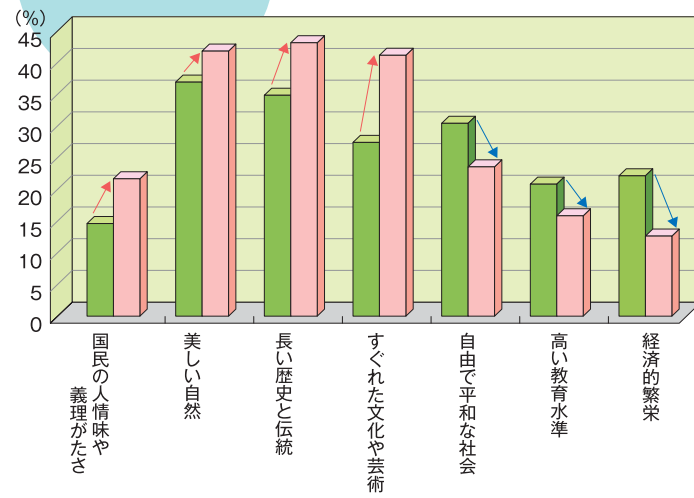


共生・対流による 農村地域の活性化

都市住民の農村との共生・対流への期待が高まっています

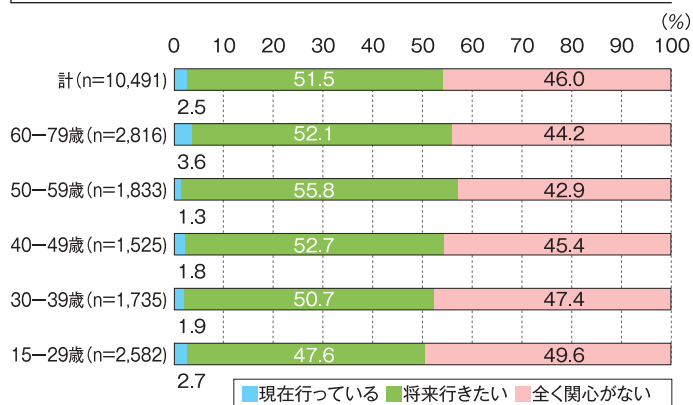
日本の国や国民について誇りに思うこと



世論調査の結果から、経済的繁栄や社会の安定よりも長い歴史と伝統、美しい自然、すぐれた文化・芸術を誇りに思う人が増えていることが分かります。こうした意識の変化を背景に、都市住民と農村との交流についての意義も広く考えられています。また、二地域居住についても半数以上の人々が興味を持っています。

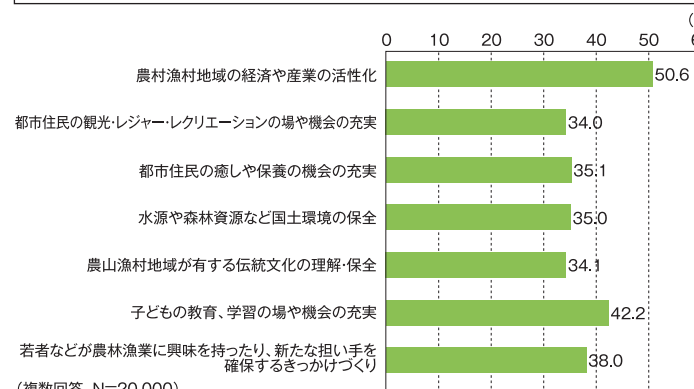
資料:内閣府「社会意識に関する世論調査」をもとに作成

年代区分別の二地域居住の状況



資料:国土交通省「二地域居住」の意義とその戦略的支援策の構想

都市住民と農山漁村地域との交流を促進させることの意義



資料:国土交通省都市・地域整備局地方整備課「平成19年度都市農山漁村連携交流推進調査」インターネットWebアンケート結果をもとに作成

各地で共生・対流のさまざまな取組が行われています

都市と農村の共生・対流のさまざまな取組が展開されています。このような中で、国民の農村へのニーズが高まり、農業体験をテーマとしたテレビ番組や雑誌等の連載が人気を集めています。



岐阜県高山市:稲刈り体験

農山漁村体験修学旅行

農家民宿の利用率の向上と都市住民の農業体験学習



(写真提供:水見市農林課)

棚田オーナー制度

棚田保全と都市住民の農業体験を通じた農村との交流と農業の理解促進

富山県水見市:オーナーによる田植え



(写真提供:多可町)

滞在型市民農園

市民農園にログハウスを併設した滞在型市民農園を利用した農業資源の観光利用

兵庫県多可町:ラインガルテン



(写真提供:近畿農政局)

農産物直売所

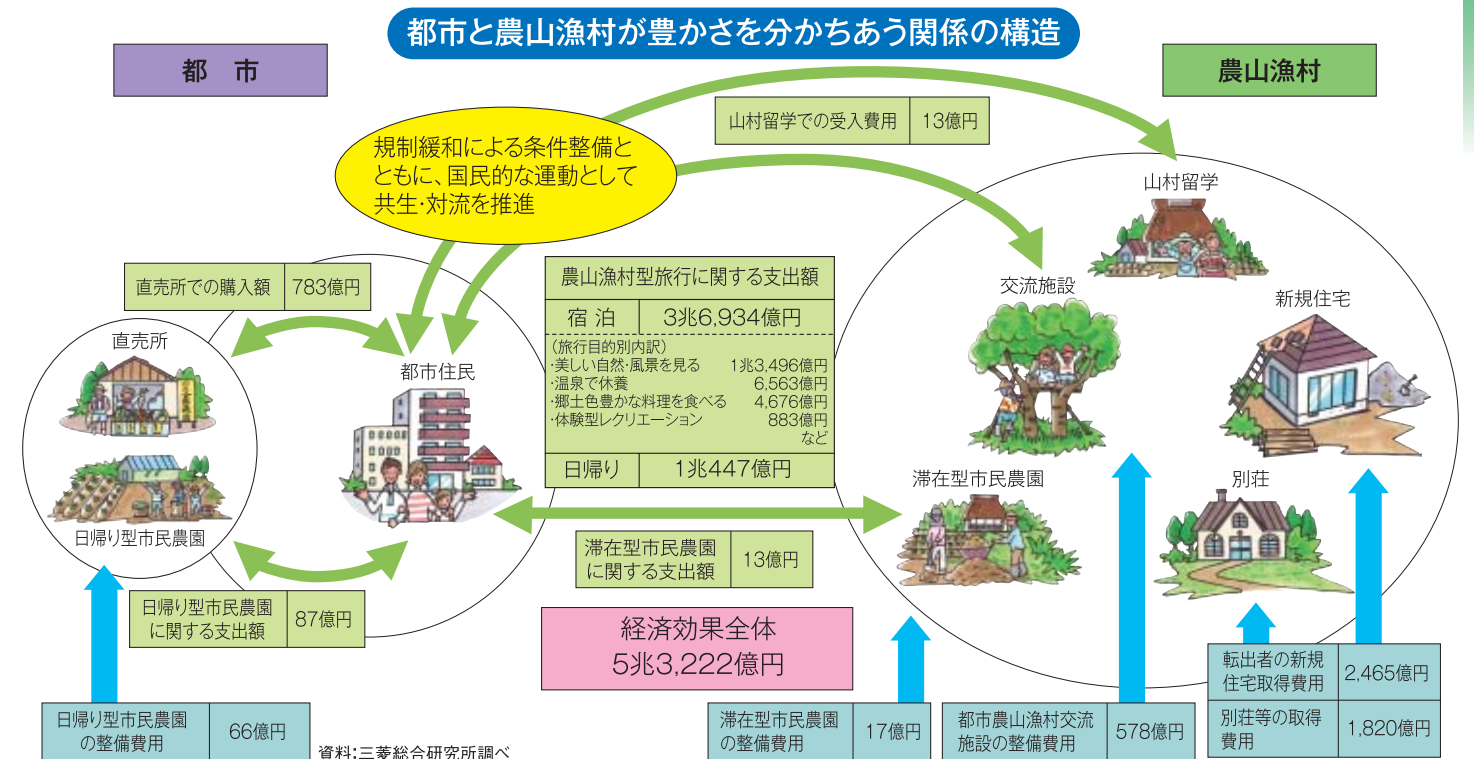
生産者と消費者を結びつける安心な食材を提供するとともに、都市と農村の人々の交流の場

京都府京丹後市:あじわいの郷 愛菜館

都市と農村の共生・対流が地域活性化に貢献しています

都市と農山漁村との共生・対流の広がりにより、農産物、農産物加工の販売増加、新たな就業の場の創出等の効果が期待できます。また、都市住民と農村住民がお互いの生活や文化に学びあい、刺激を受け、取り入れることにより充実したライフスタイルの実現につながります。

都市と農山漁村の共生・対流の経済効果



トピックス 子ども農山漁村交流プロジェクトを推進しています

農山漁村や食の大切さを学ぶ効果などを期待し、「ふるさと子ども夢学校」の愛称のもと、小学校における農山漁村での1週間程度の長期宿泊体験活動を推進するプロジェクトが、関係省連携の下推進されています。

子ども農山漁村交流プログラムの例

稲のはざかけ体験



収穫体験



(写真提供:(財)都市農山漁村交流活性化機構)

子ども農山漁村交流プロジェクト

~120万人・自然の中での体験活動推進~

